

ふれあい懇談会会議録（一般社団法人南相馬ミライエ）

団体名 一般社団法人南相馬ミライエ

開催日 令和7年10月17日（金）

時 間 15時30分～17時

場 所 市民情報交流センター マルチメディアホール

参加者 団体関係者 43名

市長、建設部長、復興企画部理事兼イノベーション政策課長
（事務局）秘書課長、秘書課広報広聴係長

1. 開会の挨拶
2. 市長挨拶
3. 出席者紹介
4. 懇談
5. 閉会の挨拶

No.	発言者	発言内容	回答者	回答事項
1	参加者	仮住宅跡の跡地を何か有効活用できないだろうか。 また、鹿島区で家を建てる際に、補助金や手当てがない。検討いただきたい。	市長	<p>鹿島区の仮設住宅跡地利用については申し訳なく思っている。鹿島区が仮設住宅用の土地を提供してくれたことで、人口流出が抑えられた。南相馬市が現在の人口を維持できているのは鹿島区のおかげであり、感謝している。</p> <p>一方で、仮設住宅が土地を占めたことで、他区に比べ復興が遅れた面があり、大変申し訳ないと考えている。</p> <p>このことから、市では鹿島駅舎の活用と鹿島サービスエリアの周辺開発を計画している。駅舎の活用は現在計画を作成しているところで、鹿島サービスエリアは、物販施設やレストラン、宿泊施設を増設し、施設利用者や雇用者の増加を目指す考えである。</p> <p>しかし、鹿島区は避難地域ではないため、国の補助制度が利用できない。鹿島区をどのようにしていくのかは宿題だと思っている。住民の意見を取り入れ、行政と住民が協力して地域の活性化に取り組みたいと考えている。</p>
2	参加者	F-REI研究者の住宅について採択を受けたが、F-REIの要望と採択条件に大きな食い違いや意見の不一致があり、着工までに多くの打ち合わせが必要となった。 今後は、市が募集を行う際に内容を十分に精査してほしい。 さらに、市からの説明に高所得者向けの住宅を求めているとの話があったが、具体的にどのような人を指すのか明確にしてほしい。	市長	<p>市の住宅政策はまだ具体的にまとまっておらず、今後の話し合いで方向性を定めたいと考えている。具体的な場所や規模などの課題を早急に示すため、協議を進めている。現在の案として、高等専門学校や大学の設置、移住者や外国人が暮らしやすい街づくりなどが挙げられている。買い物できる商業施設や多言語に対応した道路標識など、総合的な視点で、住宅に必要なものを検討していきたい。</p> <p>個人的には、田舎と街中の住環境のバランスを重視するべきだと考える。肌感覚では7割が街中を希望すると感じるが、調査による確認が必要である。関係者などには「ここでならやっていける」という安心感を持ってもらう必要がある。</p> <p>一方で、市にできることには限りがある。複数年に渡る家賃補助などは難しい。例えば、市所有地の提供、安価販売、固定資産税の減免などを検討したい。ただ、市と民間が競争して、需要過多となるのは避けるべきである。バランスを考え、より良い形を模索していきたい。</p>
3	参加者	市の移住推進住宅支援事業補助金は月額1万5千円となっているが、同じ旧避難指示区域内の浪江町では月額4万円の補助を出している。同じ地域でこのような差があるのは不公平ではないかと感じる。市として補助金の増額は可能なのか。	建設部長	移住推進住宅支援事業補助金は市町村ごとに設定され、市では令和5年から現行制度を運用している。福島県と協議中で、令和8年度から12市町村移住支援センターが家賃補助制度を統一し、最も高い補助額に合わせる方針とのこと。今後の調整を確認していきたい。
4	参加者	今後は県が事業をまとめるとのことだが、旧避難指示区域の分類の違いは区分されるのか。	建設部長	南相馬市の旧避難指示区域については、一つの市町村として協議を進める方針と聞いている。
			市長	移住推進住宅支援事業補助金は、各市町村が単独で実施しているため、方針により差額が生じるのはやむを得ない。一方、今回指摘された補助は国のものであり、20キロ圏内の市町村間で差が生じることは本来ない。今後も同様の事例があれば、国へ強く意見していく。

5	参加者	<p>過去の懇談会で市長が食住の充実が必要と発言し、商工労政課で空き店舗の実態調査を行うと聞いていたが、現状はどうなっているか。</p> <p>住まいだけでなく店舗もミライエで扱えば、網羅的に物件案内が可能となるため、店舗事務所の空き状況も把握するべきであると考えている。</p> <p>また、空き家バンクで空き店舗情報を活用できるよう建築住宅課へ相談している。非店舗など制度対象外のものへの支援も検討をお願いしたい。</p>	市長	<p>制度所管の建築住宅課の職員は同席しているが、店舗情報を担当している商工労政課の職員は同席しておらず、即答できず申し訳ない。</p> <p>一般家庭などの暮らしについては、住まいだけでなく、飲食店や商業施設なども大きく関わってくるため、一本化が望ましく、担当課間での情報共有が必須となる。今後、縦割り行政の弊害を改善したいと考えている。</p> <p>移住者支援については、他自治体との補助金の額で争うのはきっと良いことではないため、出産や子育てを含めた生活全体の支援をアピールする必要がある、その中で、100万円の住宅補助やアパート補助があるといった形にしたい。</p> <p>ミライエは南相馬市の強みであり、他自治体にはない特色を活かしたいと考えている。空き店舗の件は何かしたいと思っている。</p> <p>⇒（商工労政課からの回答）</p> <p>市では、令和6年度に原町区の13商店会を対象とした空き店舗調査を実施し、31件の空き店舗情報を把握した。そのうち、不動産会社により入居者募集中となっているもの、もしくは、店舗兼住宅として利用されており、賃貸の意向がないもの等を除いた1件についてミライエへ情報提供させていただいたところである。</p> <p>調査で把握した残りの空き店舗情報は、状況に変化があれば、改めて情報提供させていただく考えである。</p>
6	参加者	<p>空き家改修工事の補助金について、浪江町は上限150万円、富岡町は250万円であるのに対し、南相馬市は100万円にとどまっている。同じ避難指示区域内であるため、市でも他自治体に近い金額へ増額を検討してほしい。</p> <p>また、残留物処分費用についても浪江町は30万円であるのに対し、南相馬市は20万円と少ないため、これについても増額をお願いしたい。</p>	市長	<p>市は他自治体より早く対応したため、独自の補助が多く、良いスタートを切ったと考えている。</p> <p>しかし、後から制定された他自治体の制度の方が条件が良い場合もある。周辺情報を迅速に収集し、大きな差が生じないようにしたいと考えている。</p> <p>ただし、複数の小規模補助事業を行うか、大規模補助事業に注力するかを検討する必要がある、その判断によって他自治体との差が生じる点は理解を求めたい。まずは近隣の状況を把握し、情報収集を徹底したうえで、全体のバランスを考えながら制度修正を検討する。</p>
7	参加者	道路や空き家の雑草の対応に困っている。市に対応をお願いできるのか。	市長	<p>草木の問題は、市で一旦受け付けたいと考えているので、連絡してほしい。対応窓口は場所によって国や県など異なるが、市が整理して関係機関に依頼する。行政区長に話を通すと話が早い。まずは困ったことがあれば相談してほしい。</p>
			建設部長	<p>樹木の枝のはみ出しについては、日々、市役所へ相談が寄せられている。道路にはみ出している場合、市役所に通報してほしい。市が対象箇所の管轄を調べ、国道や県道など関係機関に要請する。民地や所有者不明の場合は民法上の扱いがあり時間がかかるが、市で調査し対応していく。</p>